

講義コード	11C0285800	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	今井 賢	開講期	通年		
科目名	情報処理概論(2010年度以降入学生)										
履修前提条件						備考					
授業の目的	<p>情報リテラシ教育を経てきた学生を対象とした授業です。本講座の目的は、これまで断片的に耳にしていた様々な情報関連のことがらを、本講義を通して体系的に学ぶことにより、漠然としていた情報関連知識を再度理解し直し、より正確で確実な知識の定着を図ることにあります。そのことによって今後の情報社会の発展へ向けての最新の知識と感性とが培われます。</p> <p>また、情報検定、基本情報技術者試験、パソコン検定などの「筆記式」の資格・検定試験にも部分的に対処します。</p>										
到達目標	<p>コンピュータのハードウェア、ソフトウェアならびに通信技術の基本的仕組みを理解し、それらを説明できることが目標です。現代の日進月歩の情報通信関連技術の動向を説明でき、さらに今後の発展に寄与できるようになります。</p>										
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>授業の映像はその日のうちにネット上で公開する予定です。(ただし、教室の設備環境に依存します。)</p> <p>授業外学修として120時間(4時間/週)を要します。</p>										
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>前期</p> <p>【第1回】 ガイダンス</p> <p>【第2回】 基本的用語の解説(1)</p> <p>【第3回】 基本的用語の解説(2)</p> <p>【第4回】 ハードウェアの概観</p> <p>【第5回】 データの内部表現(文字情報)</p> <p>【第6回】 論理回路と演算装置</p> <p>【第7回】 記憶装置</p> <p>【第8回】 入力装置と出力装置</p> <p>【第9回】 データの内部表現(数値情報)</p> <p>【第10回】 ハードウェアの補足(インターフェイスなど)</p> <p>【第11回】 CPUの最近の動向</p> <p>【第12回】 ゲーム産業</p> <p>【第13回】 IT革命</p> <p>【第14回】 情報・知識の時代</p> <p>【第15回】 まとめと復習</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>後期</p> <p>【第16回】 ソフトウェアの概観</p> <p>【第17回】 オペレーティングシステム</p> <p>【第18回】 プログラム言語</p> <p>【第19回】 プログラミングとシステム開発</p> <p>【第20回】 データ形式</p> <p>【第21回】 システムの性能評価</p> <p>【第22回】 セキュリティ管理とコンピュータ犯罪</p> <p>【第23回】 コンピュータネットワーク1</p> <p>【第24回】 コンピュータネットワーク2</p> <p>【第25回】 コンピュータネットワーク3</p> <p>【第26回】 情報システムの活用</p> <p>【第27回】 SNS</p> <p>【第28回】 人工知能</p> <p>【第29回】 情報文化論</p> <p>【第30回】 まとめと復習</p> </td> </tr> </table>									<p>前期</p> <p>【第1回】 ガイダンス</p> <p>【第2回】 基本的用語の解説(1)</p> <p>【第3回】 基本的用語の解説(2)</p> <p>【第4回】 ハードウェアの概観</p> <p>【第5回】 データの内部表現(文字情報)</p> <p>【第6回】 論理回路と演算装置</p> <p>【第7回】 記憶装置</p> <p>【第8回】 入力装置と出力装置</p> <p>【第9回】 データの内部表現(数値情報)</p> <p>【第10回】 ハードウェアの補足(インターフェイスなど)</p> <p>【第11回】 CPUの最近の動向</p> <p>【第12回】 ゲーム産業</p> <p>【第13回】 IT革命</p> <p>【第14回】 情報・知識の時代</p> <p>【第15回】 まとめと復習</p>	<p>後期</p> <p>【第16回】 ソフトウェアの概観</p> <p>【第17回】 オペレーティングシステム</p> <p>【第18回】 プログラム言語</p> <p>【第19回】 プログラミングとシステム開発</p> <p>【第20回】 データ形式</p> <p>【第21回】 システムの性能評価</p> <p>【第22回】 セキュリティ管理とコンピュータ犯罪</p> <p>【第23回】 コンピュータネットワーク1</p> <p>【第24回】 コンピュータネットワーク2</p> <p>【第25回】 コンピュータネットワーク3</p> <p>【第26回】 情報システムの活用</p> <p>【第27回】 SNS</p> <p>【第28回】 人工知能</p> <p>【第29回】 情報文化論</p> <p>【第30回】 まとめと復習</p>
<p>前期</p> <p>【第1回】 ガイダンス</p> <p>【第2回】 基本的用語の解説(1)</p> <p>【第3回】 基本的用語の解説(2)</p> <p>【第4回】 ハードウェアの概観</p> <p>【第5回】 データの内部表現(文字情報)</p> <p>【第6回】 論理回路と演算装置</p> <p>【第7回】 記憶装置</p> <p>【第8回】 入力装置と出力装置</p> <p>【第9回】 データの内部表現(数値情報)</p> <p>【第10回】 ハードウェアの補足(インターフェイスなど)</p> <p>【第11回】 CPUの最近の動向</p> <p>【第12回】 ゲーム産業</p> <p>【第13回】 IT革命</p> <p>【第14回】 情報・知識の時代</p> <p>【第15回】 まとめと復習</p>	<p>後期</p> <p>【第16回】 ソフトウェアの概観</p> <p>【第17回】 オペレーティングシステム</p> <p>【第18回】 プログラム言語</p> <p>【第19回】 プログラミングとシステム開発</p> <p>【第20回】 データ形式</p> <p>【第21回】 システムの性能評価</p> <p>【第22回】 セキュリティ管理とコンピュータ犯罪</p> <p>【第23回】 コンピュータネットワーク1</p> <p>【第24回】 コンピュータネットワーク2</p> <p>【第25回】 コンピュータネットワーク3</p> <p>【第26回】 情報システムの活用</p> <p>【第27回】 SNS</p> <p>【第28回】 人工知能</p> <p>【第29回】 情報文化論</p> <p>【第30回】 まとめと復習</p>										
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢、課題、筆記試験(第1期末と第2期末の2回)で総合的に評価します。										
フィードバックの内容											
教科書											
指定図書											
参考書	『情報文化スキル第3版』城所弘泰ほか(オーム社)2014年										
教員からのお知らせ	<p>本講座の一般的な講義主体の「普通授業」では、受講生に対し、授業前・中・後の教育サポート・サービスを次のように行っています。</p> <p>【授業前】 穴埋め式講義ファイル(おもにPowerPointファイル)を事前公開します。</p> <p>【授業中】 PowerPointは勿論のこと、様々なICTを活用した授業を行います。例えば、ケータイやクリッカーを使って、「出席」「小テスト」「アンケート」などを実施します。「小テスト」、「アンケート」などの結果の集計はその場でグラフで示され、すぐに授業に反映されます。これらは、モチベーションの高揚を図るためにきわめて有効です。</p> <p>【授業後】 授業の映像をネット上で公開します(予定)。これは、教員が授業を行っている映像とPowerPointなどのスライド画面とが連動したものです。授業の復讐や休んだ学生へのフォローとして効果的です。(ただし、教室の設備環境に依存します。)また、質問などは、常時、授業のケータイサイトの質問・掲示板・協働板を利用して行うことができます。</p>										
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。										
その他											